

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス学部 国際社会学科	氏名	松井 貴英 Matsui Takahide
職名	教授	E-mail	t-matsui@cb.kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

2000（平成12）年4月	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程人文学専攻入学
2004（平成16）年3月	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程人文学専攻 単位取得満期退学
2006（平成18）年3月	博士（文学）学位取得（課程博士） （名古屋大学（文学）第190号）

■ 主な職歴

2008（平成20）年9月	名古屋外国語大学非常勤講師
2009（平成21）年4月	名古屋工業大学非常勤講師

教育活動

■ 主な担当授業科目

<input type="checkbox"/> 学部：哲学、倫理学
<input type="checkbox"/> 大学院：

■ 教育上の特記事項

<input type="checkbox"/> 教科書・教材：本学部における初年次教育用共通テキスト『マナビのトビラ』執筆 及び制作
<input type="checkbox"/> 教育活動：企業探求プログラムの実践、初年次教育の実践、ビブリオバトルの初年次教育への活用
<input type="checkbox"/> 免許・資格：

研究活動

■ 研究分野

研究分野	古代ギリシャ哲学、応用倫理、応用哲学
主な研究テーマ	プラトンの認識論、建築の哲学、都市の持続可能性、デフスタディーズ 等
キーワード	想起説、風景としての建築、ストック型社会、デフス

■ 主な著書・論文等

著書

- (共)『フランス・バカロレア式 書く！ 哲学入門』(ナカニシヤ出版、2021年3月)

論文

- (単)「想起と数学」—プラトン『パイドン』における等しきそのもの(『哲学』55号、2004年、pp. 243~255)
- (単)「プラトン知識論の研究—『メノン』の想起説に関する考察」(2005年、博士論文)
- (単)「古い集合住宅の再生可能性について」(*Nagoya Journal of Philosophy* .vol.7、2008年、pp. 135~149)
- (単)「風景としての建築」(『教養研究』第18巻第1号、2011年 pp. 53-70)
- (単)「メノンの最初の問い」(九州国際大学『教養研究』第19巻第2号 2012年12月 pp. 23-37)
- (単)「科学あるいはミュートス—プラトン『ティマイオス』における「ありそうな話」」(九州国際大学『教養研究』第20巻第1号 2013年7月 pp. 1-15)
- (単)「徳を教えることについて—プラトン『メノン』におけるソクラテスとアニュトスとの対話」(九州国際大学『教養研究』第22巻第3号 2016年2月 pp. 55-71)
- (単)「持続可能な社会とストック型社会再考」(『九州国際大学 国際・経済論集』創刊号、2018年3月、pp. 133-148)
- (単)「プラトン『パイドン』における死の練習と哲学探求について」(『名古屋大学哲学論集 田村均先生ご退職記念特別号』2018年4月、pp. 143-156)
- (単)「ろう文化と異文化理解としてのデフ・スタディーズ—哲学的観点から」(『中部哲学会年報』49号、2018年4月、pp. 1-12)
- (単)「映画的「劇画」—1956年の辰巳ヨシヒロ—」(『九州国際大学 国際・経済論集』第3号、2019年3月、pp. 1-24)
- (単)「プラトンと語り—『ティマイオス』を中心に」(『名古屋大学哲学論集 金山弥平先生ご退職記念特別号』、2020年4月、235-248頁)
- (単)「辰巳ヨシヒロは「劇画」で何を表現したか—『黒い吹雪』における「よるべのなさ」」(『九州国際大学 国際・経済論集』第7号、2021年3月、pp. 15-39)
- (単)「プラトン『テアイテトス』における数学と哲学」(『名大哲学論集 宮原勇先生ご退職記念特別号』2021年4月、pp. 203-219)
- (単)「藤子・F・不二雄による“劇画”—「劇画・オバQ」の解釈の試み」(『九州国際大学 国際・経済論集』第11号、2023年3月、pp. 35-64)
- (単)「心が折れないために—自分らしくそしてよく生きることについて—」『中部哲学会年報』57号 1-13 ページ

学会発表

- (単)「ソクラテスとシミアスは何を知っているのか—プラトン『パイドン』74b2 - 3について」(2013年、第62回日本哲学会)
- (単)「工業製品に対する責任—技術者と消費者における」(2005年、中部哲

<p>学会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (単)「アリストテレス『自然学』における可能無限 (2010 年、名古屋大学哲学会) ○ (単)「哲学対話の現代的意義」(シンポジウム「現代における対話の可能性」の提題者の一人として) (2016 年、中部哲学会) ○ (共) ” The Political Suggestion: Necessity of Change from 'Flow-Type Society' to 'Stock-Type Society in Japan for Sustainable life of Next Generation” (poster session) (2016, September, The International Society for Industrial Ecology (ISIE) joint 12th Socio-Economic Metabolism section conference and 5th Asia Pacific conference) ○ (単) ” To think deeply about Sustainable Society and Environment : Moral Philosophy, Ethics and Education for Realizing SEM and Material Stock Style Society and Sustainable Society” (oral session) (2016, September, The International Society for Industrial Ecology (ISIE) joint 12th Socio-Economic Metabolism section conference and 5th Asia Pacific conference) ○ (単)「プラトンにおける想起と数学——『テアイテトス』第二部の検討を中心に」(西日本哲学会第 70 回大会、2019 年 11 月 30 日) ○ 「2024 年のジオラマボーイ・パノラマガール」(中部哲学会 2024 年大会シンポジウム「折れやすさを哲学する」提題者として。2024 年 9 月 21 日)
<p>その他</p> <p>翻訳 (共訳) : 『治療を超えて バイオテクノロジーと幸福の追求』(青木書店、2005 年)</p>

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

()年 月	特になし
--------	------

■ 主な所属学会

日本哲学会、日本西洋古典学会、応用哲学会、中部哲学会、西日本哲学会、ギリシャ哲学セミナー、名古屋大学哲学会

■ 受賞等

()年 月	特になし
--------	------

■ 研究助成金による研究

○ 平成 23 年度 総務省 緑の分権改革推進事業 (共同研究者)
○ 平成 24 年度～ 産業界 G P 授業改革グループ (共同研究者)

社会における活動等

○ 講演 「哲学の立場からグローバリゼーションを考える」北九州市立年長者研修大学校穴生学舎シニアカレッジ(2013 年 2 月 22 日)
○ 講演「適切に問うこと——哲学的探求の実践的活用」大学図書館問題研究会

福岡支部特別企画「潜在ユーザー発掘作戦で大発見！！—ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館部ランディングを学んで—」（平成26年6月14日）

- 市民講座 「生きることと死ぬこと～身終いに向けての哲学～」北九州市民カレッジ（平成27年2月24日～3月24日）
- 「旧八幡市制100周年記念 次世代システム研究会第100回研究会 合同フォーラム 地域の持続可能な未来づくり（SDGs）に向けて」（2017年5月13日開催）実行委員長
- 市民講座「「対話する人」であることについて～最後までよりよく生きるために～」北九州市民カレッジ 大学連携リレー講座 「いい人生は、いい準備から」第5回目（2018年2月9日）
- 「ラジオで哲学カフェ」出演（2018年4月5日 FM FMKITAQ）
- 「2050年の八幡東区の描き方を考えるフォーラム」（2018年11月10日、共催：北九州市、後援：内閣府地方創生推進事務局）の開催と運営と司会
- 「2050年の八幡東区を描こう ワークショップ」の開催と運営と司会（2018年11月17日、12月8日、12月15日の三回、共催：北九州市、後援：内閣府地方創生推進事務局）の開催と運営とファシリテーターと司会
- 「2050年の八幡東区をカタチにする ワークショップ&発表会」（2019年1月26日、2月16日、3月2日の三回、共催：北九州市、内閣府地方創生推進事務局）の開催と運営とファシリテーターと司会
- 「2050年の八幡東区をカタチにする 発表会」（2019年3月16日、共催：北九州市、内閣府地方創生推進事務局）の開催と運営と司会
- 「考えよう！ わがまち 今とこれから」（2019年11月16日、30日 於平野市民センター）のファシリテーター（16日のみ）、共同運営、方向性等の指導
- 「哲学的に物事をみる」（2022年12月8日 北九州市民カレッジ 大学連携リレー講座「私を変える小さな習慣「日々の積み重ねで人生を豊かに」」第3回）
- 「松本零士とその時代」（全2回シリーズ 2023年8月18日、9月22日 北九州文学サロン「北九州みんなのまなび広場 in 京町」）（1）「漫画は戦争をどのように描いてきたか」（2）「松本零士と少年期」
- 「漫画を通して時代を読み解く——戦後漫画を10倍楽しく読む方法」（全5回 2024年2月5日～3月11日 北九州市民カレッジ）
- 「多文化共生の実践のために」（2024年3月19日 シニアカレッジ（穴生学舎）リレー講座のうちの1回）
- 第一回ストック型社会システム研究会（2025年5月17日）実行委員長
- 「古代ギリシャの世界遺産」（2025年2月3日 シニアカレッジ（穴生学舎）リレー講座のうちの1回）

大学運営活動等

- 教務委員会（2011年10月～2014年8月、2012年4月から2014年8月まで代表教務委員）
- 教務部長（2014年9月～2016年8月）

- 就職・進路部長 (2016年9月～2017年3月)
- 国際関係学部副学部長 (2017年1月～2018年3月)
- 現代ビジネス学部副学部長 (2017年4月～2018年3月)
- 図書館長 (2018年4月～2020年8月)
- 教育情報ネットワークセンター長 (2018年4月～2019年3月)
- 基礎教育センター長 (2018年6月～)
- 教務部長 (2020年9月～2022年8月)